

I Tを活用した地域における情報共有と活動活性化

指導教員 金沢工業大学 情報フロンティア学部 教授 山岸芳夫

参加学生 井關 禎朗・勘村 美結・藤野 和哉・横川 奨・山岡 優作・西野 大地

1. 活動の成果要約

- ①現状の町内会システム「結ネット」について、ITによる地域活性化を目指す「CirKit プロジェクト」のメンバーが実際に動作を学ぶと共に、ユーザビリティにおける問題点を抽出した。
- ②地域の高齢者及び若年者に対して、現状の「結ネット」についての講習会を開催した。
- ③講習会参加者に対して「結ネット」についてアンケート調査を行い、上記①で得られた問題点とも合わせて改善を提案した。

2. 活動の目的

町内会活動では、回覧板を核とした情報伝達や情報共有の仕組みが中心であり、従来から広く定着している。しかしこの手法では、回覧版が回りきるのに2～3週間程度を要し、即時性が求められる情報の伝達・共有には適さないという問題がある。また、情報の入手が電子媒体にシフトしている現状から、そもそも回覧版は若年層には情報入手の手段として受け入れづらい、などの懸念もある。そこで、町内会システム「結ネット」の活用を通じて、多世代の地域住民間における情報共有を促進する。これにより、来るべき少子高齢化社会における町内会活動の活性化と、それに伴う世代間の交流、助け合いが実現できる。

3. 活動の内容

- ・6/25 結ネット講習会に向けての準備

過去に結ネットの説明に用いられた資料を基に、メンバー同士で結ネットアプリケーションの操作に熟達するように互いに教えあい、その上でさらに、講習会で用いるための、より分かりやすい資料を作成するためにブレインストーミングを行った。

- ・7/22 第1回結ネット講習会 10:00～12:00

場所：押越コミュニティセンター

参加者：押越子ども会保護者30名、CirKitプロジェクトメンバー6名

内容：参加者に結ネットの使い方を講習した。

本プロジェクトメンバーが作成し、講習会で使用した講習用スライドの一部を抜粋したものを下図に示す。参加者にはこのスライドを印刷したものを配布している。過去に「結ネット」の説明に用いられた資料に比べ、一ページ当たりの情報量を減らして可読性を高めており、参加者が理解しやすいように工夫が凝らされている。

結ネットとは 🔍

町内会の連絡を効率的に行うアプリ
 行事やお知らせをスマートフォンでいつでもどこでも確認できる！
 行事の出欠を取ることができる！



操作の確認 📱

メニュー画面
 町内行事、連絡事項、防災情報など様々なアイコンが並んでいる

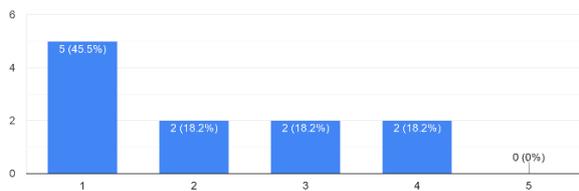
普段は「最新情報」で確認
 子どもの情報は「メニュー」→「子ども会」



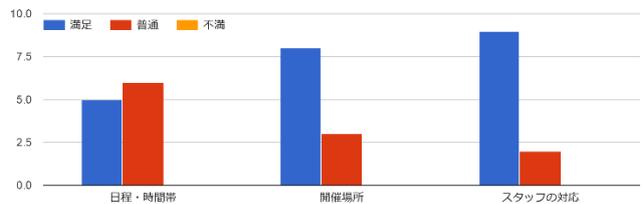
4. 活動の成果

講習会終了後に、Google フォームにて参加者にオンラインでアンケートを行った。11名の回答があった。以下に結果を示す。なお、5段階評価は全て1が最高で5が最低となる。

今回、結ネット講習会について、総合的にどのくらい満足していますか？
 11件の回答



今回の結ネット講習会の以下の点に対して、どのくらい満足していますか？

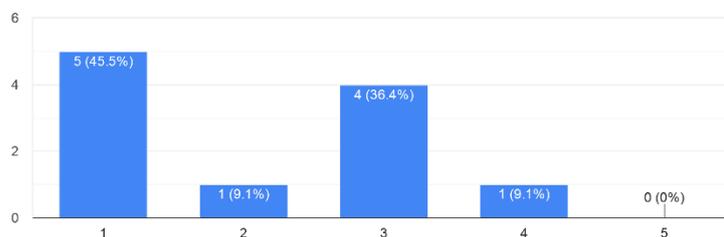


今回の結ネット講習会に対してご意見・ご感想・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

- 割とスムーズで良かったです。
- 丁寧に教えて頂きありがとうございました。
- 説明も丁寧でわかりやすかった
- 暑いなかお疲れさまでした。

続いて、町会アプリ「結ネット」について質問をします。「結ネット」の利用してみて、使い勝手はどう感じましたか？

11件の回答



町会アプリ「結ネット」に対してご意見・ご感想・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

- 便利そうです
- 便利になると思います
- これから使用してみます
- 便利そうなのでありがたいです。
- 入力して確定するとアプリがエラーを起こす場合が何度かありました。

以上のように、本講習会は参加者に対し、概ね好評を得たと言える。特にスタッフの対応について非常に高評価であったのは特筆に値する。ただし、開催の日程、時間帯については今後検討の余地があると考えられる。

この講習会および本プロジェクトメンバーからのフィードバックに基づき、「結ネット」アプリケーションのアップデートが開発元で行われた。アプリケーションはアップデートで操作がかなり変更されることが予想されたため、講習会はアップデート後に開催しようと準備を進めていたが、リリースの再三の延期が告げられ、ようやくリリースされたのが年末も近い2018年12月12日で、年内の講習会開催が困難になった。年明けの1月中旬に2回目の講習会が予定されていたが、地域側の事情でこれも中止となってしまった。

5. 次年度の計画

今年度は「結ネット」アプリケーションのアップデートに予想以上に多大な時間がかかったことで、当初の予定に大幅な狂いが生じてしまった。そのため、予定していた3回の講習会の内、1回しか行うことができなかった。次年度はこのようなことがないように、アップデートの時期を考慮して講習会のスケジュールを検討する。また、当初の予定であった、若年者と高齢者の教え合いの機会も上述の理由により実現することができなかったため、来年度はそれも念頭に置き講習会の開催を行いたいと考えている。

6. 活動に対する地域からの評価

上述のように、講習会に対する参加者の評価はかなり高かった。これにより、地域住民の「結ネット」ユーザー増加に一定の貢献ができたと思われる。加えて、「結ネット」アプリケーションに対するフィードバックを行い、その多くはアップデートによってアプリケーションに反映されている。これにより「結ネット」の操作性が向上し、地域住民の「結ネット」利用の促進に寄与できたと考えられる。

